

# 全早慶野球戦茨城大会3年ぶり開催

旧制水戸中（現在の水戸一高）出身で“学生野球の父”と呼ばれた飛田穂洲氏、水戸商出身石井藤吉郎氏、水戸一高出身の石井連蔵氏の3人の早大監督が何れも茨城出身。そして、この120周年全早慶野球戦開催地として茨城が選ばれたのは早大側の提案がきっかけであったようです。昨年11月27日快晴、ひたちなか市総合運動公園市民球場で両校応援合戦の中熱戦が繰りひろげられ早大3対6惜敗した。（観衆8千人）

## 全早慶野球戦茨城大会に参加して

南本 きよみ

11月27日（日）村田氏のご案内のもと、早慶野球戦120周年記念茨城大会にバスで行って参りました。朝から晴れ渡り、風もなく、暖かく絶好調の日和でした。松前台から7名、守谷駅から4名総勢11名でひたちなか市へ出発。途中11時過ぎひたちなか市湊中央にある喰い道楽「すみよし」にて昼食。お刺身、アンコウの唐揚げ等何より新米のご飯が美味しいでした。12時20分ひたちなか市総合運動公園市民球場に着。ワクチン接種証明、検温、手指消毒を経て、ネット裏内野席に守谷稲門会の面々は席を取りました。開会式12時40分、13時始球式（なかなかいい球でした）そしてプレール。先攻は慶應。早稲田大学の監督は小宮山悟氏、慶應大学の堀井哲也氏です。1回戦は4-0、2回は1-1、3回は0-0、4回は0-1、5、6、7回は0-0、8回は0-1、9回は1-0という結果となり、6対3で早稲田大学は惜敗。何度かホームランかと期待するも打ち上げてしまいため息をつきました。コロナ禍で声を上げて声援はできず専ら張扇を思い切ったたいて応援しました。残念な結果でしたが、各選手も全力を尽くし、双方の応援合戦

にもみなぎるエネルギーを分けてもらい束の間学生気分になりました。帰路のバスで九州場所大相撲、阿炎の初優勝を確認しました。帰宅後はサッカー観戦、日本がコスタリカに敗れました。血流が騒いだ1日でした。



試合終了後集合写真



試合開始前両校整列



3塁側応援の様子



1塁側応援の様子